

2011年5月23日

報道関係各位

東京建物株式会社
鹿島建設株式会社
昭栄株式会社
日本土地建物株式会社
戸田建設株式会社

2棟のオフィスビルを中心とした大規模複合開発「中野駅前開発プロジェクト」 施設名称並びにロゴマーク決定のお知らせ

JR中野駅至近の警察大学校等跡地(約16.8ha)の中心部において、東京建物株式会社、鹿島建設株式会社、昭栄株式会社、日本土地建物株式会社及び戸田建設株式会社が進めている大規模複合ビル事業「中野駅前開発プロジェクト」につき、今般その施設名称を「中野セントラルパーク」と決定し、併せてそのロゴマークを作成いたしましたのでお知らせいたします。

「中野セントラルパーク」は、大きく変貌を遂げようとしている中野駅周辺にあつて、中野の新たな中心を表現する「セントラル」と、公園都市を想起させる「パーク」を組み合わせたネーミングです。特に、「パーク」を付加することで、隣接の都市計画公園と一体感のある本物件ならではの“グリーンバリュー”を表現しています。

ロゴマークは、豊かな緑とゆとりある公園都市、ここでしか享受できない新たなワークスタイルを提唱するオフィス環境をイメージしています。広大なスケールを誇るオフィス空間や敷地規模、ワークスタイルの広がりなどを、葉をモチーフとした図柄と「NAKANO CENTRAL PARK」の文字の広がりで表しています。同時に「NAKANO CENTRAL PARK」の文字列は、敷地を彩る木々とここに集う多くの人々をイメージしています。



本プロジェクトは、東京建物等が出資する中野駅前開発特定目的会社が事業主体として開発しており、国土交通省から民間都市再生整備事業計画の認定を受けています。本プロジェクトは再開発等で生まれ変わる中野駅周辺が東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点となるためのリーディングプロジェクトであり、都市生活者のニーズを高い次元で満たし、地域住民や地域の活性化にも貢献できる街づくりとして進めて参ります。

＜参考＞

本プロジェクト（イースト（東棟）、サウス（南棟）、レジデンス（住宅棟）で構成）の位置する警察大学校等跡地では、約1.5haの都市計画公園や道路が整備され、明治大学及び帝京平成大学、早稲田大学の進出が決定しているほか、既に東京警察病院が開業しています。また、中野駅周辺では新たに中野駅西口改札や新北口駅前広場、南北通路等の整備が予定されており、本計画地を含む中野駅北口エリアは、将来、商業・業務、教育・文化、医療、居住、公共公益機能を備えた複合市街地の形成が期待されています。

【本プロジェクトの主な特徴】

1. 地盤の安定した武蔵野台地の高台に、免震構造を採用する等、高い耐震性能を確保
2. 都市計画公園等を含めた約3haの緑地空間を生かし、新たなワークスタイルを提唱
3. 多彩な防災機能（防災井戸、災害時利用可能トイレ、防災備蓄倉庫、テナント専用非常用自家発電機設置スペース他）に加え、周辺の災害支援機能向上にも貢献
4. 再開発により整備される計画的な周辺防災機能
5. 省エネルギーを実現し、CO₂の排出量を25%削減する環境に優しい施策

《特徴詳細》

- ・ イースト（東棟）は免震構造を採用した10階建の中層オフィスビル。1階は店舗、2階～10階は事務所で、基準階は天井高2.9m、有効面積約850坪の無柱空間を実現。
- ・ サウス（南棟）は制震構造を採用した22階建の高層オフィスビル（塔屋1階含む）。地下1階がコンベンションホール、1、2階が店舗・貸会議室、3階～21階（一部2階）が事務所で、基準階は天井高2.9m、有効面積約1,500坪の都内最大級のオフィスフロアを実現。
- ・ イースト（東棟）、サウス（南棟）とも70VA/m²のコンセント容量、ヘビーデューティーゾーンとして1,000kg/m²の床加重など最先端の設備スペックを確保。
- ・ 各オフィスビル1階にはオープンスペースに面してカフェやレストラン等の店舗を配置し、公園と連続した賑わいのプロムナードを演出。
- ・ プロムナード沿いに青空会議やランチミーティングなどができるデッキを展開。
- ・ サウス（南棟）にはシャワールームやロッカールームを完備したランニングステーションを開設。
- ・ ビルの受電方式は3回線スポットネットワーク方式を採用。災害時に1回線が機能しなくなった場合でも他回線からの受電が可能。
- ・ ビル自体に設置している非常用発電設備に加え、テナント専用の非常用自家発電機設置スペースを確保。
- ・ 敷地の一部に防災備蓄倉庫を設置しているほか、災害時利用可能トイレ、被災者受入スペース、携帯電話等の充電施設等を整備し、周辺地域を含めた災害支援機能の強化にも貢献。
- ・ 再開発エリア内の都市計画公園・東京警察病院・明治大学・帝京平成大学は災害時の防災拠点としての機能を担う予定。
- ・ オフィスビルではLow-E複層ガラスや高効率照明、自動調光システム、自然換気システム、太陽光発電等を採用し、CASBEE（建築環境総合性能評価システム）にてSランクを達成（2010年度版CASBEE-新築（簡易版）の自己評価による）。
- ・ 計画地内は既存の樹木を活用しつつ、随所に植栽を施すことで40%超の緑化率を実現。
- ・ BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）を導入し、建物の節電を含めた、省エネルギー対策に寄与。

【計画概要】

概要	イースト（東棟）	サウス（南棟）	レジデンス（住宅棟）
所在	東京都中野区中野4丁目2番143他		
敷地面積	6,045 m ²	23,835 m ²	937 m ²
構造規模	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造 地上10階地下2階 免震構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋・鉄筋コンクリート造 地上22階地下1階 制震構造	鉄筋コンクリート造 地上5階
延床面積	39,025 m ²	151,577 m ²	1,748 m ²
高さ	50.6m	99.95m	19.22m
事業主体	中野駅前開発特定目的会社		
用途	オフィス、店舗、駐車場	オフィス、店舗、駐車場 集会場（ホール、貸会議室）	賃貸住宅17戸
設計施工	戸田建設株式会社	鹿島建設株式会社	
竣工予定	2012（平成24）年3月	2012（平成24）年5月	
プロジェクト URL	http://www.nakano-central.jp		

※上記敷地面積は、中野駅前開発特定目的会社にて整備し、中野区に移管予定の「区画道路」及び「緑地」の合計面積（約3,900 m²）を控除後の面積です。

【事業経過】

2007年8月	土地取得
2009年5月	東京都都市計画審議会付議
2009年6月	東京都都市計画決定告示
2010年1月	建築確認通知受領（イースト（東棟）・サウス（南棟））
2010年2月	建築確認通知受領（レジデンス（住宅棟））
2010年6月	民間都市再生整備事業計画認定 本体工事着工
2012年3月予定	イースト（東棟）竣工
2012年5月予定	サウス（南棟）・レジデンス（住宅棟）竣工

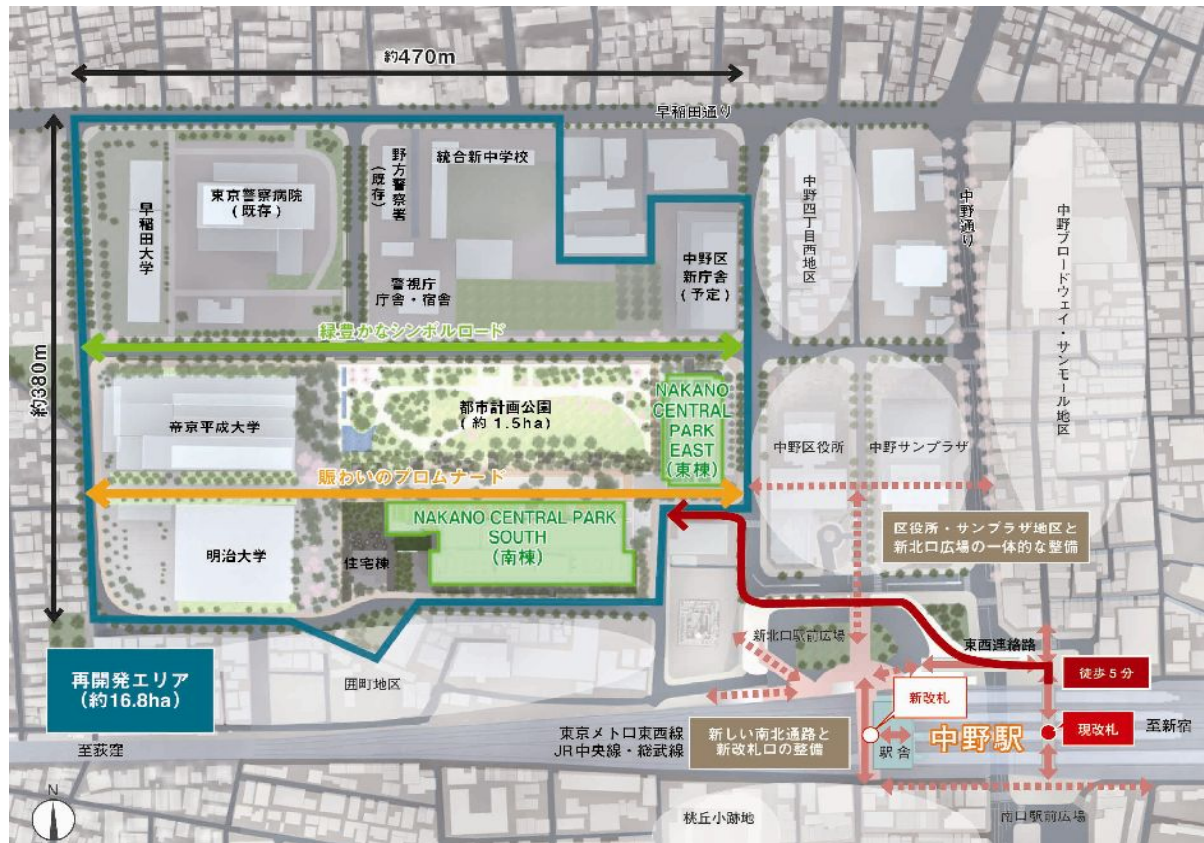
以上

【添付資料】

- 計画地位置図 ○外観イメージパース ○外観イメージパース（鳥瞰、公園から）
- 共用部分等（賑わいのプロムナード、ウッドデッキ、エントランス等）

* 本日この資料は、以下の記者クラブにお届けしています。
 ○都庁記者クラブ ○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会

【計画地位置図】



【外観イメージ】





鳥瞰イメージ



公園から中野セントラルパークを望む

【共用部分等】



賑わいのプロムナード



プロムナードに設置されたウッドデッキ



サウス(南棟)エントランス



サウス(南棟)ガーデンラウンジ